

2016(平成28)年度資金収支予算概要

学校法人 和泉短期大学

収入の部

(単位:千円)

資金収支計算書

2016年度における法人の全ての諸活動に対する収入と支出の資金の動きを明らかにした計算書類。企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に相当

年度 科目	2016年度	2015年度	比較増減
学生生徒等納付金収入	665,150	624,700	40,450
手数料収入	8,470	8,490	△ 20
寄付金収入	1,000	500	500
補助金収入	40,000	40,000	0
	100	100	0
付随事業・収益事業収入	2,559	3,223	△ 664
受取利息・配当金収入	7,000	9,000	△ 2,000
雑収入	4,965	31,489	△ 26,524
前受金収入	213,450	213,350	100
その他の収入	149,682	121,877	27,805
資金収入調整勘定	△ 213,040	△ 242,370	29,330
資金収入合計	879,336	810,359	68,977
前年度繰越支払資金	2,069,085	2,037,843	31,242
収入の部合計	2,948,421	2,848,202	100,219
支出の部			
人件費支出	399,322	423,027	△ 23,705
教育研究経費支出	171,639	142,927	28,712
管理経費支出	110,343	101,357	8,986
施設関係支出	101,483	101,358	125
土地	100,000	100,000	0
建物	1,483	1,358	125
設備関係支出	10,891	23,966	△ 13,075
教育研究用機器備品	6,862	18,775	△ 11,913
管理用機器備品	2,789	3,951	△ 1,162
図書	1,240	1,240	0
資産運用支出	46,528	70,653	△ 24,125
有価証券購入支出	2,000	12,000	△ 10,000
第3号基本金引当特定資産	607	585	22
減価償却引当金繰入支出	42,000	56,000	△ 14,000
定期預金繰入支出	0	0	0
積立保険金	1,921	2,068	△ 147
その他の支出	10,576	12,000	△ 1,424
奨学貸付金	3,150	3,150	0
前期末未払金	1,611	3,150	△ 1,539
前期末預り金	5,815	5,700	115
〔予備費〕	30,000	30,000	0
資金支出調整勘定	△ 1,787	△ 3,221	1,434
資金支出合計	878,995	902,067	△ 23,072
翌年度繰越支払資金	2,069,426	1,946,135	123,291
支出の部合計	2,948,421	2,848,202	100,219
資金収支差額	341	△ 91,708	92,049

1年250名(定員) 2年295名(38名増)
専攻科 20名(定員)

検定科 児童福祉学科 250名
専攻科 20名

60周年記念事業募金(特別寄付金)

国 40,000 市 100

講習会収入 912
受託事業収入 1,647

金利低下 平均利回り 0.126%

設備利用料(保育園地代他)

第2号基本金引当特定資産等取崩
前期末未収入金他

2015年度前期学納金

2015年度末 現金預金

専任教員 23名(1名増員)

1号館外壁・鉄部塗装工事他

創立60周年記念事業他

第2号基本金組み入れ計画による
土地取得(前年度から繰延)

1号館 ランニングセンター トア改修

教卓12台、ピアノ1台取替更新他

記念ブック作り、食堂厨房備品

退職給与引当特定資産からの振替

第3号基本金引当特定資産 果実繰入

教職員団体養老保険

和泉奨学金 6名

退職金財団掛金 3月分

私学事業団共済掛金他

2016年度退職金財団掛金
3月分(未払金)他

2016年度末 現金預金

2016(平成28)年度 事業活動収支予算概要

(単位:千円)

事業活動収支計算書
(旧 消費収支計算書)

2016年度における学校法人の事業活動の収支均衡状況を明らかにし、法人が健全であるかを示す計算書類、企業会計の「損益計算書」に相当

新会計基準により勘定科目の大科目の名称変更
小科目は講習会収入、受託事業収入

教育活動の事業活動収入

本来の大学の教育活動の収入

専任18名、特任2名
専攻科 3名

児童福祉学科40名(1名減)

専任 15名、法人1名
契約 1名

契約職員、看護師、
学生アルバイト他

1号館外壁・鉄部塗装
(41,236)

広報宣伝費 19.2%
(管理経費に占める割合)

教育活動収支差額

教育活動収入が安定して、教育活動支出を賄うことが出来るか

教育活動外収支

受取利息(金利低下は大きな影響)
経常的な収支のうち財務活動等によるもの。

特別収支

特殊な要因により一時的に発生した臨時的なもの
現物寄付、資産処分差額等

教育活動収支差額 + 教育活動外収支差額 = 経常収支差額
経常収支差額 + 特別収支差額 = 基本金組入前当年度収支差額 (旧 帰属収支差額)

支出超過の場合
減価償却費の範囲内であれば、

年度	科目	2016年度	2015年度	比較増減
		()	()	()
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	665,150	624,700	40,450
	手数料	8,470	8,490	△ 20
	寄付金収入	1,000	500	500
	経常費等補助金	40,100	40,100	0
	付随事業収入	2,559	3,223	△ 664
	雑収入	5,826	31,489	△ 25,663
	教育活動収入計	723,105	708,502	14,603
	人件費比率	(54.7%)	(58.6%)	
	人件費	399,322	420,809	△ 21,487
	専任教員給	217,734	209,801	7,933
兼任教員給	20,195	23,028	△ 2,833	
専任職員給	140,700	140,364	336	
兼任職員給	15,843	16,523	△ 680	
役員報酬	4,000	4,000	0	
退職給与引当繰入額	0	26,347	△ 26,347	
退職金	850	746	△ 104	
教育研究費比率	(31.9%)	(28.1%)		
教育研究経費	232,639	201,785	30,854	
(減価償却額)	(61,000)	(58,858)	(2,142)	
管理経費比率	(16.1%)	(15.1%)		
管理経費	117,525	108,068	9,457	
(減価償却額)	(7,182)	(6,711)	(471)	
(広報宣伝費)	(22,518)	(24,398)	(△ 1,880)	
教育活動支出計	(749,486)	(730,662)	(18,824)	
教育活動収支差額	(△ 26,381)	(△ 22,160)	(△ 4,221)	
教育活動外収支	受取利息・配当金	7,000	9,000	△ 2,000
	教育活動外収入計	7,000	9,000	△ 2,000
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	(7,000)	(9,000)	(△ 2,000)
経常収支差額	(△ 19,381)	(△ 13,160)	(△ 6,221)	
特別収支	その他の特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	0	0
	資産処分差額	0	752	△ 752
	その他の特別支出	0	22,367	△ 22,367
	特別支出計	0	23,119	△ 23,119
特別収支差額	(0)	(△ 23,119)	(23,119)	
[予備費]	30,000	30,000	0	
基本金組入前当年度収支差額	△ 49,381	△ 66,279	16,898	
基本金組入額合計	△ 8,901	△ 585	△ 8,316	
当年度収支差額	△ 58,282	△ 66,864	8,582	
前年度繰越収支差額	2,861,924	2,639,814	222,110	
基本金取崩額	0	16,999	△ 16,999	
翌年度繰越収支差額	2,803,642	2,589,949	205,111	
事業活動収入計	730,105	717,502	12,603	
事業活動支出計	779,486	783,781	△ 4,295	
事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)	△ 49,381	△ 66,279	16,898	
事業活動収支差額比率(旧帰属収支差額比率)	-6.8%	-9.2%		

基本金組入額内訳

8,901

第1号基本金組み入れ

8,294

第3号基本金組み入れ

607

2016 年度予算書概要説明

2015 年度に学校法人会計基準改正が施行され、計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書を作成することになります。

資金収支予算書の資金収入合計は、879,336 千円、資金支出合計は 878,995 千円です。

資金収支差額は、341 千円収入超過になる見込みです。

事業活動収支予算書は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の 3 つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。事業活動収入合計は 730,105 千円です。基本金組入前当年度収支差額は 49,381 千円支出超過です。基本金組入額は、第 3 号基本金として、基金による運用果実（利息）から奨学事業経費を控除した残額 607 千円組み入れを行い、第 1 号基本金組入額は、8,294 千円になります。

事業活動支出合計は予備費を含め 779,486 千円です。2016 年度繰越収支差額は、58,282 千円支出超過になり、事業活動収支差額（基本金組入前当年度収支差額）は、49,381 千円の支出超過になる見込みです。

○ 今後の和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による 18 歳人口の減少（2018 年度問題）、保育者養成校の増加、入学定員の厳格化等、本学を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しています。また、2015 年度は私立大学の約 43%（250 校）、短期大学の 61%（192 校）が入学定員を満たしていない状況です。

本学は、経常収入の約 87% を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止は喫緊の課題です。2015 年度は、外部資金等の導入による経営戦略として、文部科学省の競争的資源（教育活性化施設設備整備事業）を獲得し、教育の質の向上を図るため、ラーニングセンター will（自学自習の学びの場）を開設しました。

相模原市に移転後 40 年が経過し、校舎等の修繕工事計画及び教育研究活動の維持向上を図りながら、経費の削減をはじめとした経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図って参ります。

深町正信理事長による 2016 年度「学校法人和泉短期大学の基本構想」は、4 つ柱「1. 法人創立 60 周年記念事業、2. 1 号館外壁塗装、鉄部塗装改修工事」3. 学生・教職員安否確認システム導入 4. 時間割改正に伴う教育環境の整備」をもとに事業展開を致します。

学校法人和泉短期大学は 2016 年 5 月創立 60 周年を迎えました。

年々厳しさを増している状況下において、本学の教育環境を整備充実していくには、将来にわたり支出要因が多いため、2016 年度は 60 周年記念事業募金活動を行い、さらなる発展を目指して今後も「出るを制して、入るを計る」ことを原則として業務改善に取り組み、一層の合理的・効率的な支出を行い、資金の有効活用に努めます。

建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた特色のある教育を展開し、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となって努力して参ります。

事務局長 土 橋 正 文